

成果の説明書

<p>(氏名) 向井 悠一郎</p>	<p>(学部) 経済学部</p>
<p>1 重要事項</p>	
<p>【研究】</p>	
<p>本年度の主な研究業績は以下の通りである。このうち一部は、高崎経済大学特別研究助成金、科研費基盤 C (研究分担者)、笹川科学研究助成の支援を受けた。下記の他、査読誌への掲載が決定した論文が 2 本 (国内誌 1 本、海外誌 1 本) ある。この他、科研費基盤 A (連携) の支援により、韓国の造船、鉄鋼、化学産業の調査も行った。</p>	
<p><論文など></p>	
<p>向井悠一郎(2016)「非高付加価値市場における日本企業の優位性—造船産業の事例」『経営学論集第 86 集』日本経営学会</p>	
<p>MUKAI,Y.(2015)“The Dynamics of the Komatsu Way.”, <i>Annals of Business Administrative Science</i>,14,205-215.</p>	
<p>向井悠一郎・藤本隆宏 (2015)「建築物の価格設定：建築物の価格はなぜ決まりにくいのか」『建築ものづくり論』有斐閣</p>	
<p>渡邊泰典・森泰一郎・向井悠一郎(2015)「建築産業の契約に関する分析：ゲーム理論と情報の経済学の応用」『建築ものづくり論』有斐閣</p>	
<p><口頭発表など></p>	
<p>向井悠一郎(2016)「近年の造船産業の非雁行形態的進化」第 20 回進化経済学会東京大会,2016 年 3 月 26 日,東京大学本郷キャンパス</p>	
<p>向井悠一郎(2015)「日本の造船会社の競争力：アーキテクチャの視点からの検討」高崎経済大学経済学会研究会,2015 年 12 月 15 日,高崎経済大学</p>	
<p>向井悠一郎(2015)「非高付加価値市場における日本企業の優位性—造船産業の事例」日本経営学会第 89 回,2015 年 9 月 4 日,熊本学園大学</p>	
<p>【教育】</p>	
<p>講義は、スライド資料を作成し、ポータルサイトから受講者に配布した。加えて、受講者の理解を促すために、中間テストやミニクイズを出題した。ゼミは、毎回担当者が発表レジュメ、発表者以外も簡単な要約を用意して輪読を行った。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 東京大学 MMRC コンソーシアム出席 • 大学訪問時の模擬授業 (2015 年 7 月 6 日、水戸桜ノ牧高校) • 出前授業 (2015 年 11 月 19 日、千葉県立匝瑳高校) • ラジオ高崎「ラジオゼミナール」出演 (2016 年 2 月 20 日・27 日) • 学内の論文誌査読、学生懸賞論文審査 • 群馬ものづくり改善インストラクタースクール成果発表会出席 (2016 年 2 月 20 日) 	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p>	
<p>研究面では、採択が決定した科研費若手 B、日本生産性本部研究助成の支援により主に造船産業の事例研究を進め、イノベーション論への貢献に重点を置いて論文化を図る。</p>	
<p>教育面に関して、講義は着任初年度の本年度に作成した資料をベースに、内容の改善、難易度の調整を行う。ゼミは、輪読の他に工場見学など活動内容を検討することにより、ゼミ生の主体的な取り組みを促し、個々の能力が伸びるような運営を試みる。</p>	